

私がおじさんになっても

第8期OB 荻野 真央

お世話様です、荻野です。2019年は育児疲れが祟ったのか、腰椎椎間板ヘルニアや慢性蕁麻疹の発症をはじめ、様々な体調不良に見舞われた一年でした。「30歳超えたら身体にガタが来るぞ。」とよく会社の先輩方が言っていましたが、まさにその片鱗を垣間見たような気がします。いよいよ「お兄さん」から「おっさん」と呼ばれても反論できない今日この頃。健康って大事なんだなぁと改めて痛感する毎日です。2020年はとにかく健康第一で過ごそうと思います。ジムにも行ってみようかしら。

さて、この1年を振り返りまして、つまらない私事ではありますが、いくらか皆様にご報告差し上げたいと思います。

◆仕事編：東南アジアからヨーロッパへ

3年半に渡り、インドネシアのチョコパイ、およびタイのトッポを担当させていただいておりましたが、この度異動がございまして、ポーランドの Wedel 社という M&A 先の老舗チョコレートメーカーのサポートを担当させていただくことになりました。東南アジアでは海外事業の醍醐味やビジネスのダイナミズム、リーダーシップやチームワークなど、本当にたくさんのことを学ばせていただきました。正直、元々ドメスティックな人間でしたので、海外部門への異動にはかなり躊躇した記憶がありますが、異国の地での様々な経験と数々の出会いの中で、その面白さに気付かされたこの期間は私の人生のひとつの転機です。

そしてポーランド。言わずもがな、大陸も人種も言語も宗教も嗜好性も流通構造も商材も全てが違うので、あらゆるものが新鮮です。当社は1851年創業の、ポーランドの子どもからお年寄りまで本当に愛されて止まない会社なので、そんな消費者の皆様と、彼らを誇りに思う現地社員の方々を少しでもサポートできるよう、精進してまいりたいと思います。ワルシャワへお越しの際は是非、Pijalnia Czekolady という我々のチョコレートカフェ、ならびに Wedel Chocolate の数々をお楽しみください。



◆私事編：娘が可愛くて可愛くて会社行きたくない

娘が産まれて早1年が経ちました。寝返り、ハイハイ、つかまり立ち…と本当に日に日に成長していく我が子を見ているともう離れたくない！（笑）。未だ不慣れなところも多いですが、こうして子育てをしていると、本当に愛せずにはいられなくなってきましたね。一方で、妻はどんどん狂暴で恐ろしく、夫には見向きもしなくなりました。ますます頼もしく、子どもを第一に考えて家庭を支えてくれています。一緒に子育ての苦楽を共にしながら、なんだかんだで毎日楽しく過ごしています。



娘の写真

そういえば先日は久々に8期会も実施しました。皆全然変わっていないですが、続々と結婚&出産のお知らせを受けるの

で、家族持ちも増えたり、やっぱり皆少しずつ変わっていているのでしょうか。僕らがおじさんおばさんになっても、こうやって皆で集まって、未来と過去と現在の話をしたいですね。

つらつらと書かせていただきましたが、おじさんになっても、若き血が流れる、子どもに誇れるような立派な仕事をしながら、素晴らしい家族や仲間と共に生きていく素敵な大人になりたいと思います。小野ゼミも気がつけば所属生は皆代替わりして、なかなか顔を出すのも億劫になる年齢ですが、陰ながらいつまでも応援させていただきます。皆様とそのご家族のご多幸とご健勝を祈念しまして、今年のエッセイを締めくくらせていただければと思います。



8期会の様子（著者は右列の前から2人目）